

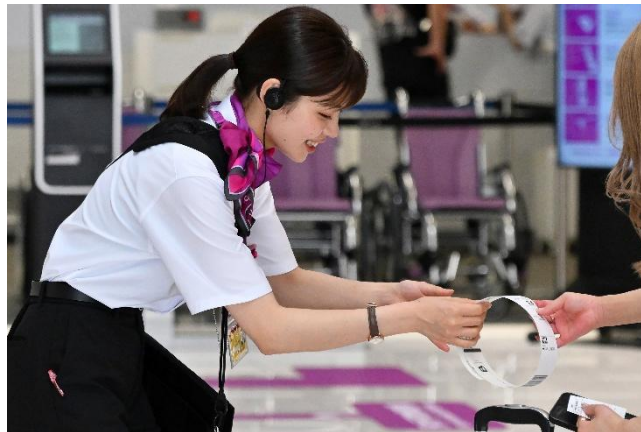
2025 年 7 月 1 日
Peach Aviation 株式会社

旅客ハンドリング業務の自社体制スタート！ ～さらなるサービス品質向上を実現へ～

- ・ 関西空港の国内線旅客ハンドリング業務を自社運営体制に移行
- ・ 空港でのサービス品質向上と柔軟な対応力の強化を図る
- ・ 関西空港における国際線旅客ハンドリング業務の自社体制化も予定

Peach Aviation 株式会社（以下：Peach、代表取締役 CEO：大橋 一成）は、本日、7 月 1 日より、関西空港における国内線旅客ハンドリング業務をこれまでの委託体制から自社体制に移行しました。

当社はこれまで外部委託を通じて空港での旅客ハンドリング業務を提供してまいりましたが、さらなる品質向上と柔軟な対応力の強化を図るため、自社による直接運営へと切り替える運びとなりました。



この取り組みは、お客さまへのサービス品質向上と、より効率的な運航体制の構築を目指すものです。自社化の対象となる業務は、関西空港における国内線旅客ハンドリング全般で、チェックイン業務、到着業務、コントローラー業務などが含まれます。これまで外部委託していた空港における旅客ハンドリング業務を段階的に自社スタッフが担うことで、Peach ならではの、お客さまに寄り添い、安心感と快適さを追求したサービスを提供できる体制を整えます。

将来的には、今回の国内線旅客ハンドリング業務を皮切りに、2026 年春に関西空港における国際線旅客ハンドリング業務の自社化を予定しています。

Peach は、今後も愛あるフライトをすべてのお客さまへお届けできるよう、安全で快適な空の旅を提供します。そして、お客さまの声を大切に、サービス品質の向上と業務効率化を追求してまいります。

<代表取締役 CEO 大橋 一成のコメント>

空港はお客さまと Peach の初めてのリアルなタッチポイントとなる重要な場面です。自社員が直接サービスをすることで、Peach らしいおもてなしをお客さまにダイレクトに届けることができるようになります。今後は、自社スタッフの採用・育成も強化しながらサービス品質への責任を持ち、より愛される航空会社を目指してまいります。

Peach について(www.flypeach.com)

Peach は新千歳、成田、中部、関西、福岡、那覇の 6 空港を拠点とし、36 機の航空機で、国内線 25 路線、国際線 15 路線に就航しています。また、2025 年 4 月 10 日より、大阪（関西）、名古屋（中部）ーソウル（金浦）線に就航し、国際線ネットワークがさらに充実しました。Peach は引き続き、安全を最優先に基本品質を追求し、より多くのお客さまに愛される航空会社を目指してまいります。